

岸和田市交通まちづくりアクションプラン 〔公共交通編〕

目標を達成するための 公共交通に関する施策について

1. 施策の体系

方針

子どもから高齢者まで
いきいきと健康に暮らせる
まちを支える公共交通

施策 路線バスの再編

施策 ローズバスのダイヤ改正・利便性向上

施策 バス等の乗り継ぎ利便性等を高めるICカードの普及促進

方針

環境にやさしく、
にぎわいと活力を
支える公共交通

施策 交通結節点の整備

施策 公共交通情報の充実

施策 JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業の推進

施策 鉄道路線間の連携

方針

定住化や
来訪機会を促す魅力ある
まちを支える公共交通

施策 都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進

施策 高速バスの利便性向上

施策 来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実

方針

みんなでつくり、
みんなで支える
持続可能な公共交通

施策 地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組み

活動と移動の階層構造による分類

広域圏

近隣圏

生活圏

施策

路線バスの再編

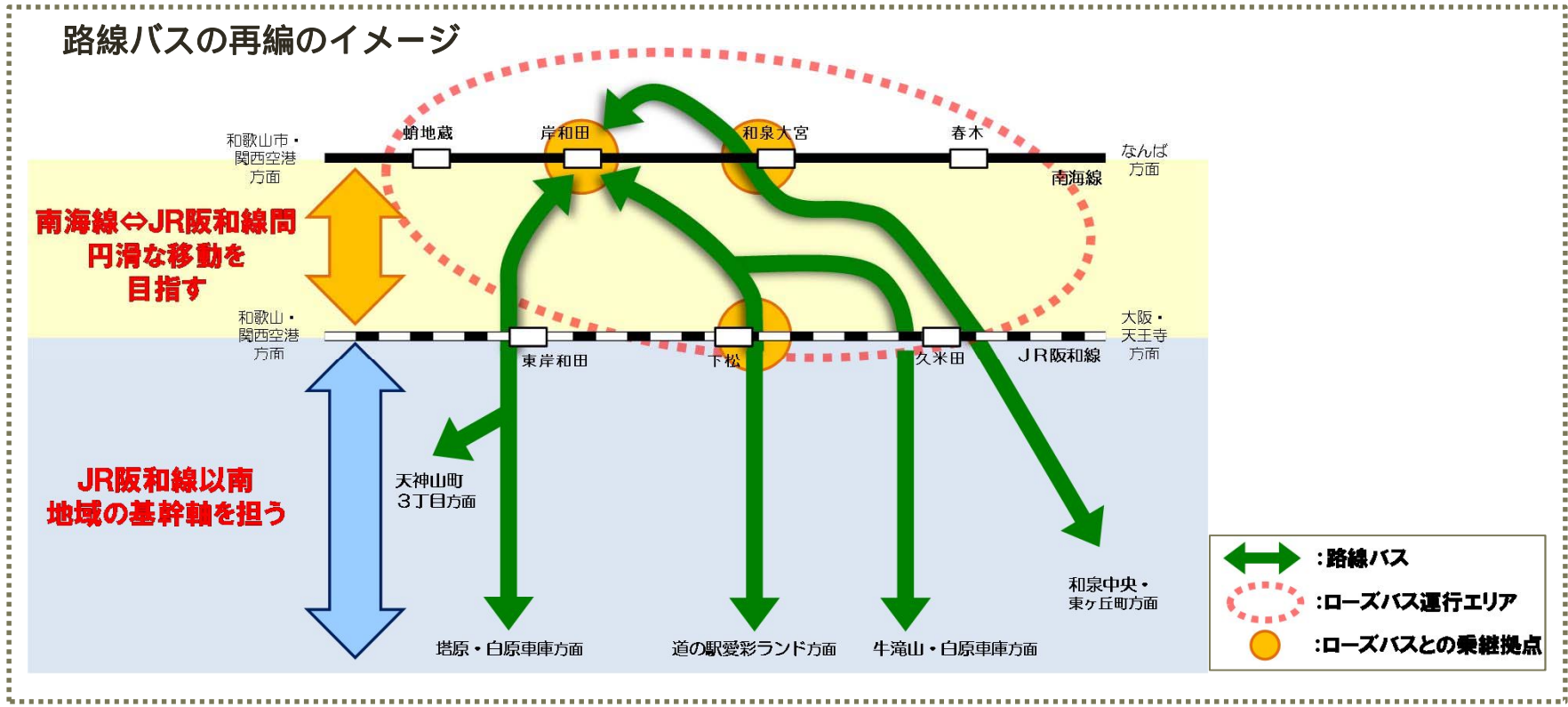
活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

日常の身近な交通手段として、市内及び市外の鉄道駅や主要施設等を結び、広域連携軸や地域連携軸の役割を担う路線バスを今後も維持するため、利便性向上を図るために市内バス路線の再編を行う。

【施策の概要】

- ・ 路線バスの利便性向上を図るために、ダイヤ改正の実施に向けた検討を行う。
- ・ 中心市街地における移動サービスを担うローズバスとの乗継拠点を設置する。

路線バスの再編のイメージ



施策

ローズバスのダイヤ改正 ・ 利便性向上

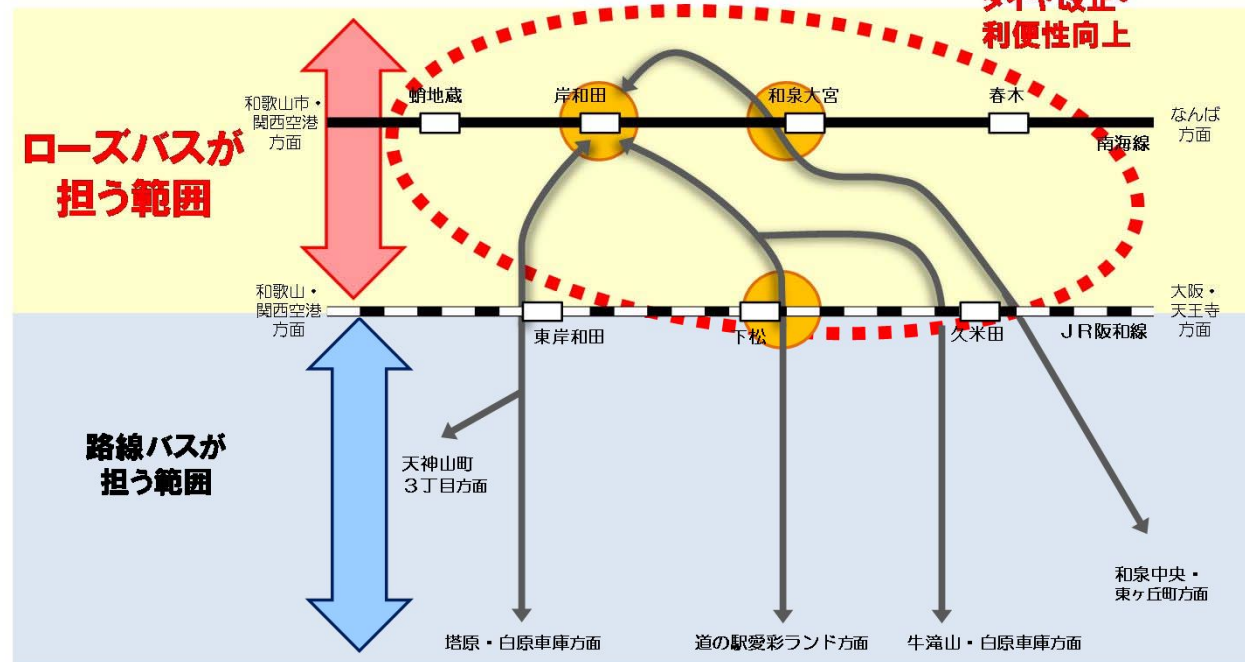
活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

ローズバスは、中心市街地を巡回し移動サービスを担う。既存路線バスとの役割分担を図り、利用者のニーズや需要に応じた運行の見直しを行う。また、各交通手段の役割の整理を行い、ローズバスの運賃体系について、適正化を図る。

【施策の概要】

- ・ ローズバスの利便性向上や効率化を図るため、路線の再編を実施する。
- ・ 鉄道・路線バス相互の乗り継ぎの利便性の向上を図るため、乗継拠点を設置する。
- ・ 市民負担の公平性の観点や路線バスの運賃体系を考慮し、受益者負担を含めた料金体系の見直しを行う。

ローズバスのダイヤ改正・利便性向上施策のイメージ



施策

バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系ICカードの普及促進

活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

路線バスの利用促進を図るために、平成28年4月に導入した交通系ICカードを活用した割引制度の拡充などの情報提供を行うとともに、交通系ICカードの普及促進を行う。

【施策の概要】

- 交通系ICカード利用による割引制度の拡充などの情報提供を行い、普及促進を図る。

市内路線バス・ローズバスで利用可能な交通系ICカードの概要

- 南海バス、南海ウイングバス金岡、南海ウイングバス南部の路線では、交通系ICカード「PiTaPa」をはじめ、全国相互利用サービス（itaca、PASMO、Suica、manaca、TOICA、ICOCA、はやかけん、nimoca、SUGOCA）に対応。
- PiTaPa利用の場合、1回だけの乗車でも自動的に「PiTaPa利用額割引」として、割引率の高い3千円、5千円バスカードと同じ割引（10.7%）が適用。



南海バスでは交通系ICカードの全国相互利用サービスに対応しており上記のカードをご利用いただけます。

バス車内でチャージはできません

出典：南海バス株式会社HP

市内路線バスでの交通系ICカード利用によるバス・バス乗継割引の概要

バス・バス乗継割引

1回乗り継ぐごとに運賃を大人1人につき50円割引!! (小児は20円)

1回目のご精算時刻から2回目のご精算が2時間以内であれば何回でも割引いたします。

※ご精算時刻とは、降車または乗車の精算時間です。



通常運賃 220円 + 250円 >>> 470円

バス・バス乗継割引 220円 + 200円 >>> 420円 **50円お得!**

※昼割精算には適用いたしません。昼割精算時間帯は昼割残額を優先して運賃を引き去ります。
※泉北・河内長野リムジンバスには適用いたしません。

出典：南海バス株式会社HP

施策

交通結節点の整備

活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

市内の鉄道駅には、駅前広場が未整備(東岸和田駅は暫定供用)の駅もあり、鉄道駅とバス停が離れている箇所がある。広域連携軸や地域連携軸の役割を担う路線バスと鉄道との乗継拠点となる交通結節点の整備を行い、利用者の視点に立った鉄道・路線バス・タクシーの乗継ぎの利便性向上を図る。

【施策の概要】

- ・ 路線バス・タクシーと鉄道との乗継拠点を設置する。
- ・ 駅前への路線バスの乗入れを視野に検討を行う。

【事例】土地区画整理事業に合わせて整備された駅前広場（摂津市）

摂津市では、「南千里丘まちづくり事業（南千里丘土地区画整理事業）」による新しいまちとして、平成22年の阪急京都線「摂津市駅」の開業に合わせて、駅前広場を整備している。

また、約1,000戸の分譲住宅や駅前広場、摂津市民の活動拠点となる「コミュニティプラザ複合施設」なども整備されている。

南千里丘地区は「低炭素型社会の実現」をテーマとした環境まちづくりのモデル地区となっており、建築、緑化、鉄道の部門においても数多くの表彰を受けるなど、環境負荷の低減に取り組んでいる。



出典：摂津市役所HP

施策

公共交通情報の充実

活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

現在は、路線バスやローズバス毎にバス路線図が作成されており、市全域のバスネットワークに関する情報が分かりづらくなっている。また、乗り継ぎ方法など情報提供が不足しており、市民や来訪者などへ市内の鉄道や路線バス・ローズバス等の公共交通の利便性向上を図る必要がある。市内の公共交通に関する利用方法や乗り継ぎ等の情報提供を実施する。

【施策の概要】

- ・市内のバス路線やバス停位置、鉄道とバスを乗り継ぐ際の経路やダイヤ等を示した利用者の視点に立ったわかりやすい案内マップ等を作成し、バス停をはじめとした主要施設に設置を行う。

【事例】市内バスルートやのりば位置等の情報提供（吹田市）

吹田市では、環境にやさしい電車やバスなどの公共交通をもっと知ってもらい、公共交通を利用してお出かけしてもらうため、吹田市公共交通マップを作成・配布している。バスマップには、市内複数事業者のバスルート図をはじめ、市内鉄道駅や主要施設におけるバスのりばの位置や各のりばから運行している行き先等の情報も掲載されている。また、作成・印刷費用は広告掲載料などを活用している。

吹田市公共交通マップ2016
・規格:A1サイズ(594mm×841mm)を約11cm×20cmに折りたたみ

〔表面〕



〔裏面〕



出典：吹田市HP

施策

J R 阪和線東岸和田駅付近 高架化事業の推進

活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

市街地において、多くの道路と平面交差している鉄道は、踏切による交通渋滞や踏切事故を起こす要因となっており、大きな交通問題を引き起こしている。また、鉄道が市街地の中心地を横断していることで地域を分断し、地域交流を妨げる一因にもなっている。これらの問題を解消し、安全で快適な市街地を形成し、地域交流を促進するため、J R 東岸和田駅付近での高架化に向けた事業を推進する。

【施策の概要】

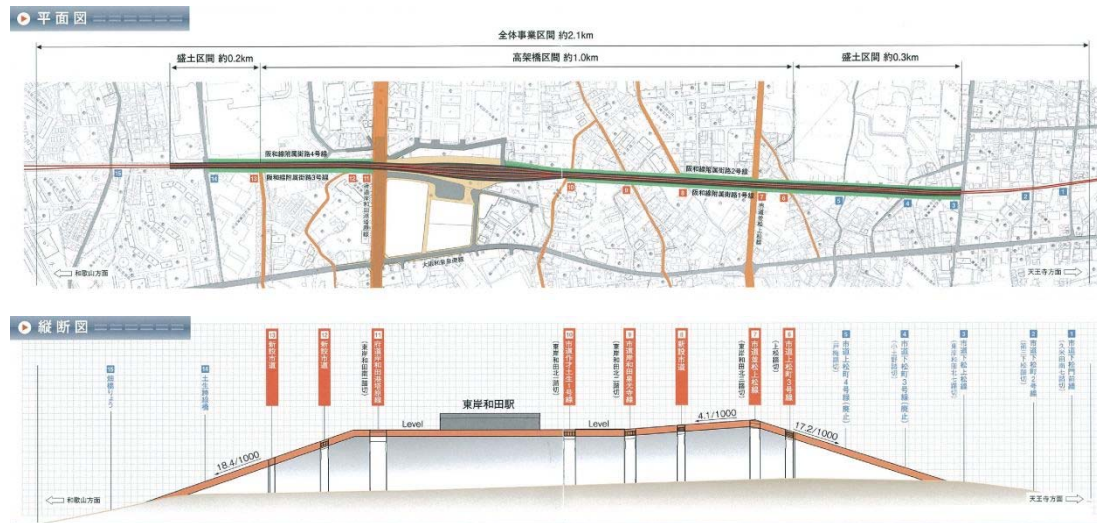
- ・ J R 阪和線東岸和田駅付近を高架化し、交差道路7か所の踏切除去や駅舎及び駅前の歩行空間のバリアフリー対策を実施する。
- ・ 鉄道の立体交差化にあわせ東西方向の幹線道路である府道岸和田港塔原線の道路改良や附属街路事業により、交通の円滑化と良好なまちづくりを促進する。

岸和田土生郷修斉線における
事業完了後のイメージ



出典：大阪府都市整備部岸和田土木事務所資料

J R 阪和線東岸和田駅付近高架化事業概略図



出典：岸和田市資料

施策

鉄道路線間の連携

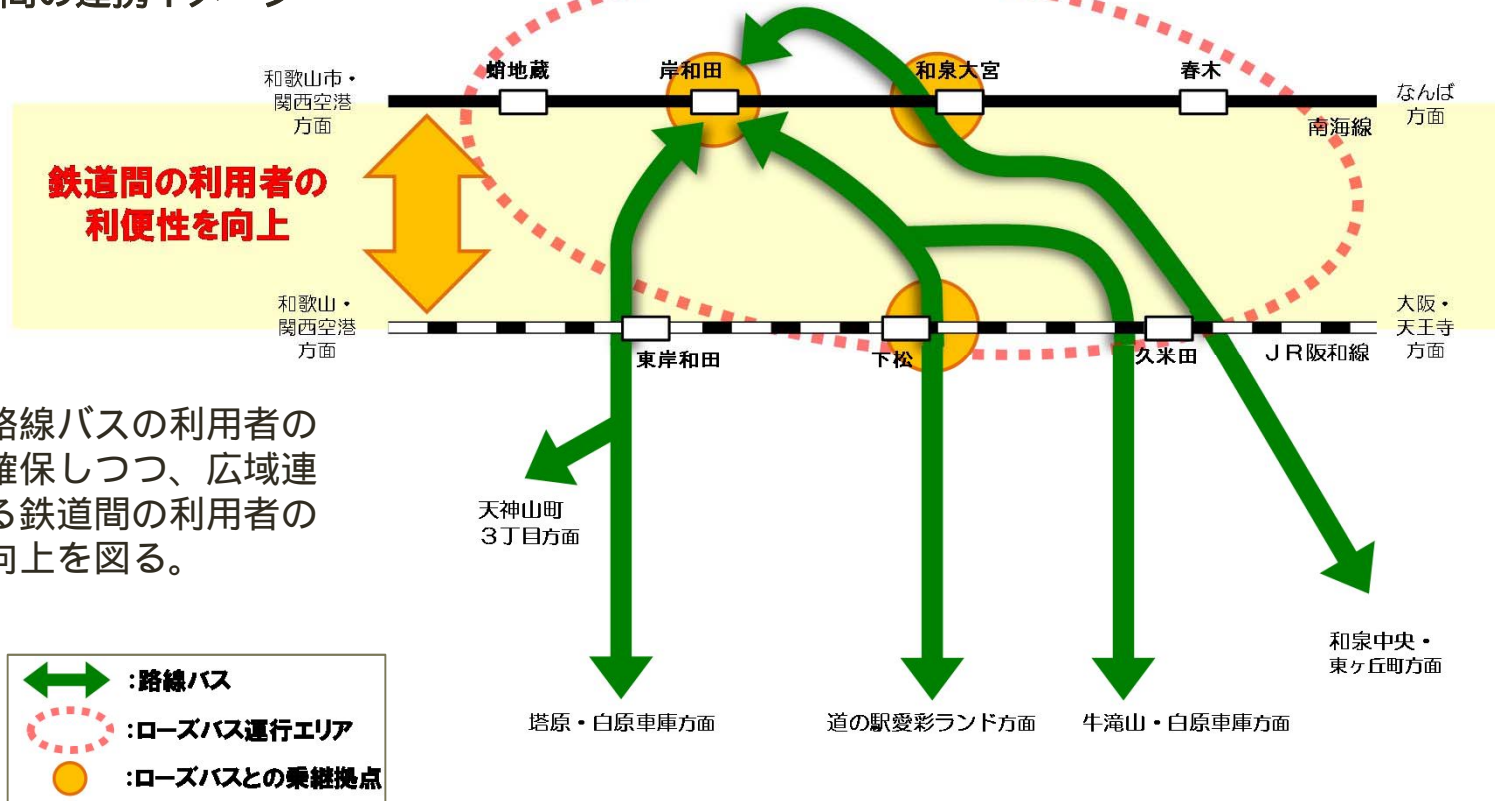
活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

来訪者の拠点間移動時の交通手段の拡充を図るために、南海岸和田駅 JR東岸和田駅間を結ぶ路線バスの活用し、鉄道路間連携を強化する。

【施策の概要】

- ・南海岸和田駅とJR東岸和田駅間を含むルートを通る路線バスのダイヤを可能な限り整理し、鉄道路間利用の利便性向上を図る。

鉄道路線間の連携イメージ



既存の路線バスの利用者の利便性を確保しつつ、広域連携軸である鉄道路間の利用者の利便性の向上を図る。

施策

都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進

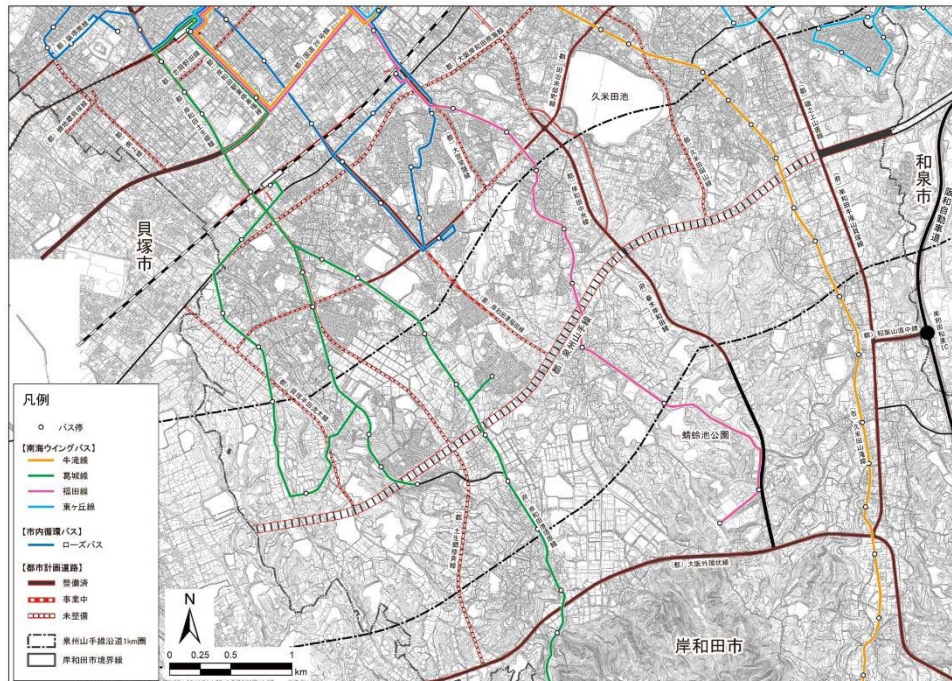
活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

泉州地域（岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市）の丘陵部における広域幹線であるとともに、地域の連携と活性化を支える重要な路線として、位置付けられている都市計画道路泉州山手線等の整備を推進する。

【施策の概要】

- ・都市計画道路泉州山手線の道路整備を推進する。
- ・泉北高速鉄道と泉中央駅からの延伸の検討を行う。

市計画道路泉州山手線沿道地域における公共交通ネットワークの状況



出典：泉州山手線沿道のまちづくりの方針(案) (平成28年11月 岸和田市)

【事例】鉄道延伸の事例（大阪府箕面市）

箕面市では、北大阪急行線の千里中央駅から北へ2.5km延伸する「北大阪急行線延伸事業」が進められている（平成32年度開業予定）。

北大阪急行線の延伸に合わせて、新箕面駅（仮称）や箕面船場駅（仮称）の新駅周辺では、まちづくりが進められている。また、新駅を中心とした市内交通が充実したバスルートへの再編も予定されている。



出典：箕面市HP

施策

高速バスの 利便性向上

活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

交流人口の拡大にむけたまちづくりを図るために、他都市へのアクセス性の向上に向けた高速バスネットワークを構築する。

【施策の概要】

- ・ 岸和田市を発着する高速バス路線の拡充に向けた検討を行う。

南海岸和田駅前的高速バスのりば



現在は、南海岸和田駅前から川崎・東京方面の高速バス（VIP LINER）が運行している。

新たに南海岸和田駅を発着する高速バスのイメージ



出典：岸和田観光バス株式会社HP

高速バスについて

- ・ 本アクションプランの高速バスとは、「高速乗合バス」を示す。
- ・ 高速乗合バスとは、道路運送法施行規則第3条の3第1号に規定する路線定期運行であって、同規則第10条第1項第1号口の運賃を適用するもの¹をいう。

1： 専ら一の市町村の区域を越え、かつ、その長さが概ね50km以上の路線において、停車する停留所を限定して運行する自動車により乗合旅客を運送するもの

施策

来訪者にとっても 利用しやすい公共交通情報の 充実

活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

観光やビジネスなどの来訪者をはじめ、岸和田市民の回遊性の向上を図るために、市内の公共交通の案内をはじめ、目的地までのルート検索や岸和田市内の観光施設やイベント情報等の情報提供を行う。

【施策の概要】

- ・入手可能なスマートフォンアプリ等で情報提供を行う。

スマートフォン向け無料アプリ「祭都(さいと)きしわだnavi」

祭都(さいと)きしわだnavi

観光、街歩きに!
防災に役立つ
ハザードマップも!

ダウンロード
無料
DOWNLOAD
FREE!

イベント情報
施設情報
防災ハザードマップ
ルート検索

ダウンロード方法

App Store または Google Play で
きしわだnavi を検索

QRコードを読み取ってダウンロードページへ

iPhone用 QRコード
Android用 QRコード

お問い合わせ 岸和田市観光課 Tel: 072-423-9486 E-mail: kankou@city.kishiwada.osaka.jp
岸和田市観光振興協会 Tel: 072-436-0014

祭都(さいと)きしわだnavi

お役立ち情報が満載!!

使い方ガイド

イベント情報 Events
施設情報 Facilities
防災ハザードマップ Hazard Map
ルート検索 Route Search

MENU・だんじりMAP・特集

出典：岸和田市資料

施策

地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組み

活動と移動の階層構造			実施主体			
広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他

鉄道駅やバス停から距離がある地域において、地域住民が主体となって運行する新たな交通モードの導入を図る。

【施策の概要】

- ・ 地域が主体となって、地域に必要な公共交通のあり方を検討する体制を構築する。
- ・ 地域が主体となった新たな交通手段への取組みをサポートする仕組みの検討を行う。
- ・ 地域・事業者・行政の協力体制を構築し、地域主体の地域バスや乗合タクシー導入を図る。

【事例】地域が主体となった新たな地域公共交通の導入事例「ぐるっと生瀬」（兵庫県西宮市）

「ぐるっと生瀬」では、大阪大学と西宮市の協力のもと、地域住民が主体となって“生瀬住民のおでかけの足を考える”取組みを行っている。9年間に及ぶ調査研究、試験運行を重ね、利用者負担と住民負担で収支を賄う計画を立案し、平成27年10月より本格運行を開始している。

また、交通困難の対策だけでなく、人がつながる、各自自治会がつながることによって、生瀬地域の町全体が活性化することも目的としている。



出典：ぐるっと生瀬事務局HP、阪急タクシー株式会社HP

2. 実施スケジュール

基本理念	方針	施策	活動と移動の階層構造			実施主体				実施スケジュール							
			広域圏	近隣圏	生活圏	市民	事業者	市	その他	平成29年	30年	31年	32年	33年	34年		
元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成	方針 子どもから高齢者までいきいきと健康に暮らせるまちを支える公共交通	路線バスの再編															
		ローズバスのダイヤ改正・利便性向上															
		バス等の乗り継ぎ利便性等を高めるICカードの普及促進															
	方針 環境にやさしく、にぎわいと活力を支える公共交通	交通結節点の整備															
		公共交通情報の充実															
		JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業の推進															
		鉄道路線間の連携															
	方針 定住化や来訪機会を促す魅力あるまちを支える公共交通	都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進															
		高速バスの利便性向上															
		来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実															
	方針 みんなでつくり、みんなで支える持続可能な公共交通	地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組み															